

## 国宝犬山城

天文6年(1537年)に織田信長の叔父信康が築城した犬山城。国宝に指定されている天守は、現存最古と言われています。木曾川のほとりの小高い山の上に建てられた天守最上階からの眺めはまさに絶景です。



天守最上階からの眺め



天守内部



## 青塚古墳

別名「王塚」「茶白山古墳」とも呼ばれ、国指定史跡にもなっている青塚古墳は、全長123m、県で2番目に大きい前方後円墳です。築造は4世紀半ば頃。発掘調査・再現整備が行われ、階段状の古墳の段に沿って配された壺型埴輪など往時の姿を偲ぶことができます。



## 国宝茶室「如庵」

犬山城の東にある日本庭園有楽苑の茶室「如庵」は、現存する国宝茶室三名席の一つ。織田信長の弟で茶人の織田有楽斎によって京都建仁寺に建てられたもので、昭和47年に現在の地へ移築しました。



## 犬山城下町

犬山城下町は「総構え」と呼ばれる城郭構造が特徴で、江戸時代の町割りが現在もそのまま残っておりまちを散策するたくさんの観光客で賑わっています。



## 木曾川うかい

1300年の歴史を誇り、古典漁法を今に伝える「木曾川うかい」。犬山城を背景に鵜匠の巧みな手縄さばきと鵜妙技を楽しむことができる、夏の風物詩です。昼うかいも人気を博しています。

キラリ★1

誇りが持てる  
まち

2つの国宝をはじめ

「本物」の歴史や文化がいっぱいです